

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
臨時増刊号
平成28年3月31日

心温まる投書、ありがとうございました！

3月31日(木)、校庭の桜も一気に咲き始め、春の暖かな日差しが心地よい天候となりました。桜小学校での最終勤務日も、今日1日となりました。

朝、中日新聞の朝刊の投書欄を見ていますと、愛知県弥富市在住の方の給食に関する投書が掲載されていました。その投書には、小さいころは、好き嫌いの多かったお子さんが、小学校6年間で、給食が学校生活の中での楽しみの一つとなったこと、好き嫌いがなくなり、何でも食べられるようになったこと、そして、栄養教諭や調理員への感謝の気持ちなどが記されていました。



この投書を読ませていただいた後、「もしかしたら本校の保護者かも知れない」と思い、名簿で調べてみましたら、やはり、本校の保護者の方でした。

桜小学校最後の日に、ありがたい投書にふれ、心温まる思いがしました。保護者から最後の温かいプレゼントを頂戴しました。本当にありがとうございました。

給食6年 親からも感謝

片山奈緒美 パート

(愛知県弥富市) 41歳

今月、第一子の長女が小学校を卒業しました。学校に通う最後の週、学校から持ち帰ったいろいろな洗濯物を見て、これが小学校生活で使う持ち物の最後の洗濯だと、いつもより気持ちを込めて洗いました。小学校生活最後の給食当番で、給食エプロンもありました。

小学校生活の中で、娘が楽しみにしていたことの一つが給食でした。月ごとに学校からいただく給食メニュー表を毎朝見て、「今日は揚げココアパンだ」など楽しみにし、登校しました。就学前は好き嫌いが多かった娘が何でも食べられるようになったのも、おいしい給食を6年間毎日提供してくださったおかげだと思っております。

一度も食中毒が起きることなく衛生面もしっかりと給食を調理してくださった調理員さん、おいしいメニューを考えてくださった管理栄養士さんに、心から感謝します。



中日新聞投書欄より

年々歳々花相似 歳々年々人不同 (唐詩選)

年々歳々、花相い似たり 歳々年々、人同じからず